

## 第7回 筑後市庁舎のあり方検討推進会議の内容報告

### ■委員名簿

職名	委員名	所 属
委員長	濱崎 裕子	久留米大学 地域連携センター顧問
副委員長	田上 健一	九州大学教授 芸術工学研究院 環境設計部門
委員	山田 崇之	福岡銀行 筑後支店 副支店長
〃	坂井 明子	社会福祉法人 筑後市社会福祉協議会 会長
〃	富安 春二	筑後商工会議所 専務理事
〃	牟田 祐介	一般社団法人 筑後青年会議所 理事長
〃	東 聖二	筑後市障害者協議会 会長
〃	兼俊 陽香	前筑後市子育てネットワークどーなっつ
〃	田島 松男	筑後市行政区長会 会長

は基本構想時も委員だった方

### ■開催日時

	開催日	備考
第5回	令和6年11月7日	報告済み
第6回	令和6年11月29日	報告済み
第7回	令和7年2月12日	

※第1回～第4回は基本構想時に開催し、その後、事業凍結に伴い委員解嘱しています。

■概要

<b>第7回 筑後市庁舎のあり方検討推進会議</b>	
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 濱崎 裕子 <input checked="" type="checkbox"/> 田上 健一 <input checked="" type="checkbox"/> 山田 崇之 <input checked="" type="checkbox"/> 坂井 明子 <input checked="" type="checkbox"/> 富安 春二 <input type="checkbox"/> 牟田 祐介 <input checked="" type="checkbox"/> 東 聖二 <input type="checkbox"/> 兼俊 陽香 <input checked="" type="checkbox"/> 田島 松男
議題1	<b>■筑後市庁舎建設基本計画（素案）に関するパブリックコメント及び市民説明会の結果について</b>

■第7回会議の協議・検討内容

【●:委員意見】【⇒:事務局説明】

■庁舎建設基本計画(素案)に関するパブリックコメント及び市民説明会の結果について

1. <<冠水対策に対する意見について>>

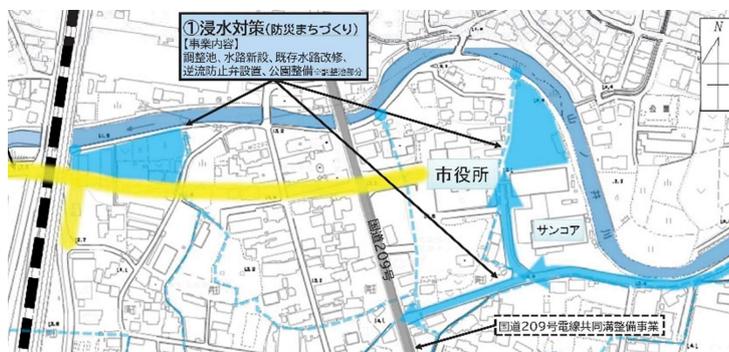
●市民の方は冠水対策が非常に気になっているようなので、その点は丁寧な説明が必要になってくると思われる。個人的にはこの基本計画のままで問題ないと思う。

⇒ 多くの意見が出ているので丁寧な説明が必要だと思っている。都市対策課が担当している都市再生整備計画を進めていくことで JR 羽犬塚駅周辺の冠水については解決できると考えており、このことについて、今後、冠水対策の情報発信について都市対策課と検討したいと思っている。

●冠水対策の都市再生整備計画事業については、これまでにスケジュール等を市民の方に公開はされているのか。

⇒ 数年前から地元の方々と水路のチェックや清掃に取り組んでおり、今後の冠水対策を検討した際に、市のハード事業として取り組むことになった経過がある。地元の方々は十分ご承知だと思っている。

●今後の庁舎建設事業と都市再生整備計画事業の説明があれば、冠水について心配されてある市民の方々も納得されると思う。



●冠水対策の件で、貯水槽の設置などがどのくらい効果が見込めるのか具体的な説明や資料があれば、理解が進んでいくのでは。

⇒ 役所周辺の冠水対策は様々な事業を組み合わせ、総合的に行っている。根本的な原因である山ノ井川については、県営河川であり、県はすでに対策に取りかかっている。市としては、調整池の新設や水路の改修等を行い、その他にも流域治水対策として、先行排水や田んぼダムについて農業者の方の協力を得て取り組みを進めている。事業ごとの効果を数字的に示せばよいが、難しいので総合的に対策していくことを丁寧に説明していく。

(補足)市の冠水対策により、浸水深が 50 cm以上になる箇所を 20 cm未満に抑

えることを想定している。パブリックコメントでも寄せられた市役所周辺の冠水による陸の孤島状態を解消できるのではないかと見込んでいる。

●市民説明会に参加し、冠水対策については市長の説明で十分理解できた。市民にも広く周知し、市の考え方が浸透できれば、この基本計画は原案通りに進めていくことで問題ないと思われる。

●パブリックコメントの回答を公表する際に、補足でいいので情報提供していただければよいのではと思う。

●パブリックコメントの回答方法について、意見区分を分けてあるので、回答が同じになるものについては、2つ目以降同様にいいのでは。特に冠水対策については、先ほどの事務局説明であった「総合的に対策されていること」を回答として、公表の際に示すとよいと思われる。

⇒ 冠水対策の部分は補強が必要だと感じており、庁舎建設基本計画書の冒頭でパブリックコメントについて記載するページを設けているので、主な意見として詳しく挙げることも検討していく。

## 2. <<財源コストに対する意見について>>

●建設費の高騰については、物価高騰が先行して上がっている状況で、賃上げが今後ついていけば、税収も増える見込みがあるのかもしれない。個人的にはこの基本計画のまま問題ないと思う。

⇒ 建設費については、設計段階でより詳細に見えてくる部分もある。華美な庁舎ではなく、必要最小限の面積で建設を進めていくことを基本とし、ご理解いただけるよう引き続き説明していく。

## 3. <<建設場所に対する意見について>>

●意見をみると、年齢層が高い方からの意見が多いのかなと思った。現当地という方向性が出ているので、どうしても反対される方からは意見が出てきてしまうように思える。

⇒ 市民アンケートで、約85%の方が現当地での建て替えに理解を示しており、約6%の方が理解をされなかったという推計は取れている。反対意見が多く出ているということではあるが、パブリックコメントの主旨は計画の質向上が目的であるため、あくまで出された数は参考程度であると捉えている。

#### 4.「憩いの庁舎に対する意見について」

●市民交流の場や憩いの場は意見として挙がっており、今後進めていくなかで意見を取り入れながら具現化される可能性があるという認識でよいか。

⇒ あくまでも基本計画には、人と人の交流や市民参画、まちづくりの拠点となる機能などの文言を入れているので、今後の設計段階で検討していきながら、市民や議会などに対して意見をこまめに聞いていければと考えている。

●市民への意見の聞き方は、今後どのような形で実施されていくのか

⇒ このあり方検討推進会議は引き続きご意見を聞かせていただき、その他の方法についても早々に検討していきたい。

●事業凍結前にも取り組みをしていたようだが。

⇒ 基本構想の策定段階では市民ワークショップ等を実施し、様々な意見を取り入れたので、基本構想を踏襲する形で基本計画の策定を進めてきている。その内容を具現化していくのが、今後の設計段階になる。

●今後はワークショップや市民団体との意見交換の場を設けることは検討されているのか。

⇒ 今回の市民アンケートでも、希望する設備や庁舎内のスペースなどについて聞いている。基本構想時の市民アンケート同様に市民交流の場やカフェスペースを望む意見が多く出てきたので、しっかり検討していきたい。

#### 5.「まとめ」

●本日の会議はどのようにまとまっていくのか。

⇒ 本日の会議は、市民説明会とパブリックコメントを実施した結果、本日お示ししている多数の意見が出ており、意見に対する市の回答に、まず問題がないか確認していただく、また、出てきた意見を確認していくなかで、市としては計画の素案から変更を加える必要はないと判断したため、その判断に問題がないか確認をさせていただきたい。

庁舎建設基本計画については原案通りで進めていくことでよろしいか。(異論なし)  
基本計画については原案通りで進めていくことを、推進会議で認める。